

## 【令和8年第2回相馬方部衛生組合議会定例会管理者挨拶】

### ■各施設の放射能測定値の状況について

#### ○光陽クリーンセンターで発生する排出灰について

6月10日測定の結果、主灰が69ベクレル、飛灰が470ベクレルでした。なお、飛灰については、昨年度いわき市の民間事業者へ500.2トンの処分を行っており、5月31日現在の一時保管量は、約549トンとなっております。

#### ○有害鳥獣焼却場で発生する排出灰について

6月10日測定の結果、主灰が250ベクレル、飛灰が10,000ベクレルでした。

#### ○衛生センターで生産している肥料について

6月9日測定の結果、64ベクレルであり、国が肥料の流通可能な基準として400ベクレルを連続して下回っております。

### ■各施設の運転及び管理状況について

#### ○光陽クリーンセンターについては、

5月にごみクレーンが破損する事案が発生いたしましたが、ごみ収集業務に支障が生じないように、速やかに緊急修繕を行い、現在は通常どおり稼働しております。今後とも適切な維持管理に努め、安全かつ安定した運転を継続してまいります。

#### ○有害鳥獣焼却場について

本年度の処理状況については、6月20日現在で、14頭の有害鳥獣の搬入があり、随時、焼却処分しております。

#### ○一里壇斎苑について

障害者雇用促進法に基づく法定雇用率を確保するため、5月1日付けで4名の方を清掃員の会計年度任用職員として採用いたしました。

#### ○松川浦環境公園について

6月21日にみちのく潮風トレイルウォークが開催され、当環境公園は短距離コースのゴール地点として、約450名の来園者で賑わいました。

## ○衛生センターについて

定期的な保守点検作業と計画的な整備を実施し、正常運転に心がけ、順調に推移いたしております。

## ■病院事業について

### ○令和7年度の受診状況について

入院患者は、延べ37,939人で、前年と比較して449人、率で1.2%減少しております。外来患者は、延べ93,690人で、前年と比較して372人、率で0.4%増加しております。整形外科においては、令和7年度に常勤医師が1名増員されたことにより、入院患者、外来患者ともに大幅に増加いたしました。一方で、内科等の診療科においては患者数が減少しており、全体としては前年と概ね同水準で推移しております。

### ○本年度4月、5月までの受診状況

入院患者は延べ6,742人で、前年と比較して486人率にして7.8%の増加となっております。外来患者は、延べ14,952人で、前年と比較して150人率にして1.0%の増加となっております。主に整形外科の受診者が増加しており、入院患者、外来患者ともに前年を上回って推移しております。

今後とも、診療体制の充実を図りながら、入院患者の確保と外来診療体制の維持に努めてまいります。

### ○病院経営の状況と経営改善の取り組みについて

公立相馬総合病院を取り巻く経営環境は、人口減少に伴う患者数の減少、人件費や材料費の上昇などにより、引き続き厳しい状況にあります。

このような状況を踏まえ、本年度からは、地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業における総務省アドバイザーでもある、NPO法人病院経営支援機構理事長の合谷貴史氏を、当院の経営強化プラン推進特別アドバイザーに委嘱し、同法人による支援を受けながら、改善の取り組みを本格的に進めてまいります。

現在は、各部門へのヒアリングや業務の洗い出しを進めており、その結果を踏まえ、地域医療連携や救急受入体制の見直しなど、院内体制の強化や収益改善に向けた取り組みを進めてまいります。

今後とも、地域に必要な医療提供体制を将来にわたり維持していくため、職員一丸となって経営改善に取り組み、地域医療を支える役割を果たしてまいります。